つるさき

発行所
鶴崎神社
早島町早島2220
〒701-0304
TEL FAX 482-0097
URL www6.ocn.ne.jp/~turusaki/

第4回 鶴崎神社フォトコンテスト【大賞】

倉敷市高須賀 近藤節雄 撮影

供膳祭はワンダフル！

当社の大祭（春祭と秋祭）には特殊神事の「供膳祭（きょうぜんさい）」が古式に則り執り行われる。

神様へのお供え物を供膳所で調理し、総代と幹事合わせて四十名が、御盛相（おもっそう）（ご飯）を始め魚や餅、果物等を乗せた三方を手渡しで神様が鎮まる本殿へ運ぶ。

吉備津彦命が吉備津神社から勧請された六〇〇年の昔から行われて来たであろうこの祭りは、祭りの原点である献饌（けんせん）（神様へのお供え物）が中心となる。

平成十五年の秋季大祭の供膳祭には、ドイツの留学生も飛び入り参加して、日本の伝統行事に触れ、献饌を手伝ったが、大きな鯛に思わず「ワンダフル！」

第四回「鶴崎神社フォトコンテスト」はその供膳祭の神事を絶妙なアングルで捉えた近藤節雄氏の作品が見事大賞に選ばれた。

入賞者は十二月二十三日神前で入賞奉告祭に参列し、楯と記念品がそれぞれ手渡され、お互いの健闘を讃え合った。

入賞者は左記の通り。

大賞

倉敷市高須賀　近藤　節夫

入選

倉敷市高須賀　安原　四郎
早島町早島　林　作治
倉敷市高須賀　安原　英雄

神道Q&A

【質問】

神社での祈祷などは「なぜ数え年」を使うのでしょうか？

【答え】

年齢の数え方には、お正月を迎えることにより年齢を一歳加える「数え年」と、自分の誕生日ごとに一歳の年齢を加える「満年齢」とがあります。神社で「数え年」を聞かれるのは、我が国では、お正月が各家庭で「年神様」を迎えて、新たな年の五穀豊穣と家族の幸せを祈る大切な行事となっていますので、その時に合わせて家族皆が一歳ずつ年をとる「数え年」がふさわしいと考えられてきたからです。

当初、日本には「零」の概念がなく、生まれた日から一歳で、新年を迎えると二歳になりました。「満年齢」の数え方は、明治以降次第に定着してきたものです。

明治五年十一月九日の詔書により、それまで用いられてきた太陰太陽暦（旧暦）が太陽暦（新暦）に改められました。これは開国によって、当時広く世界に普及していた太陽暦（グレゴリオ暦）を使用する必要性が生じたためです。

また、時刻法も一日を十二支にあてて数える不定時制でしたが、一日二十四時間の定時制に切り換えられるようになりました。

こうしたことを受けて、年齢の数え方も「数え年」から「満年齢」へと変わっていったのです。

旧暦は数年に一度、約一カ月間の誤差が生じてくるため、年によっては同じ月が二回重なる閏月があり、例えば年によっては五月が二回重なる場合など、誕生日による「満年齢」の換算には適さないものでした。

しかし、神社では、こうした日本の伝統的な考え方を継承していくことから、現在でも「数え年」を尊重しているのです。

秋まつりの予定

秋季大祭　１０月１６日（土）　午前１０時～

総代、幹事により３０台の特殊神饌を神前にお供えする。夕方には夜店がたくさん出ます。

神幸祭　１０月１７日（日）午前９時～午後２時３０分

午前８時の花火により執行の合図とします。午前９時の花火の合図と共に神幸行列が神社を出発します。

各御旅所を巡幸して２時３０分頃に神社へ還御されますので、沿道に出て神輿を奉拝下さい。

駐車場改修

神社駐車場の排水溝の覆いが鉄板であった為、車の出入り時に大きな音が響き、特に夜間は近隣の氏子さんにご迷惑をお掛けしておりましたが、この度塩ビ、パイプを埋設し、コンクリート張りにする工事が終了致しました。

参拝時には安心してご駐車下さい。

（コンクリートで埋められた側溝）

「七五三」祈祷

七五三は子供の無事な発育を喜び、なお一層の成長を願って氏神さまに詣でる行事です。

古来は男女三歳で髪置きの祝い、男児五歳で袴着の祝い、女児七歳で帯解きの祝いを行ったことに由来します。

当社では十一月十五日を中心に七五三祈祷を奉仕致します。

十一月十三・十四・十五日以外に祈祷希望の方は前もってご予約下さい。

総代が境内樹木伐採奉仕

去る四月二十九日幹事会終了後、総代の奉仕により、境内樹木の伐採作業を行った。

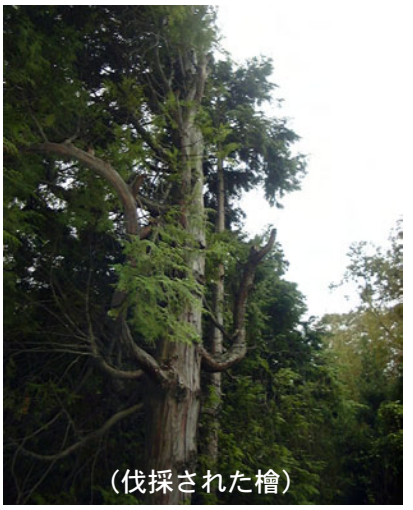
境内のヒノキを中心とする樹木がこの数年来大きく繁り、民家との境界に張り出しているため、枝葉の伐採作業を二時間に亘り行いサッパリと綺麗になった。

平成の大改築に向けて

社殿改築準備委員会が発足

長年の懸案であった当社の社殿（幣殿、拝殿等）の改築が総代会で決議され、その研究部門として「社殿改築準備委員会」が結成され、去る六月十三日に第一回委員会が開催された。

平成の大改築は境内上段の本殿以外の社殿、主要建物全ての改築であり、大事業となる事が予想されるため、慎重に綿密なる審議を重ねて遺漏無きを期するよう進めて行く事が確認された。


（伐採された檜）

神輿みこし

秋祭りのシーズンになると、あちこちの神社で神輿が繰り出し、氏子内を巡航する神幸祭が行われます。

この神幸祭は大勢の供人が付き行列をつくり、御旅所で休憩しながら神様を乗せた神輿が氏子地域を一年に一度ご覧になる一大行事です。

（２基の神輿左 鶴崎神社・右 八幡神社）

当社には二基の神輿があり、それぞれ鶴崎神社と八幡神社のご本殿から神様をお遷しする発輿祭（はつよさい）を丁重に奉仕し、出御となります。

予め決められた七ヶ所の御旅所を順番に回り、それぞれ御旅所祭を奉仕します。

当社の神幸祭は享保元年（一七四一）から行われており、現在使用している二基の神輿は文化十一年（一八一四）大阪御堂前安土町の大川屋山内又三衛門の作によるもので、昭和五十七年に修理を行いきらびやかな当時の姿に復元しました。神幸祭には沿道で是非神輿をお迎え下さい。

鶴崎神社略記

がき差し上げ

鶴崎神社を紹介する簡単なパンフレットを作成しましたので、ご入用の方は社務所までお申し出下さい。

＊サイズ　カラーＡ４版三つ折り
＊初穂料　一部　一〇〇円
＊内　容　御祭神並びに御神徳・御由緒・祭儀・文化財・境内神社・供膳祭・神幸祭を簡単に紹介。

祭事暦

十月十六日（土）［午前十時］
秋季大祭【供膳祭】
十月十七日（日）［午前九時］
神幸祭
十一月中　七五三祈祷
十一月二十三日（火）［午後二時］
新穀感謝祭
一月二日（日）［午後二時］
年始祭
毎月一日［午前九時］月次祭